

災害なんかに負けない地域をつくろう！

北区杉村学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、杉村学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも
防災マップを見ることができます。
<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>



役に立つもの

地下式給水栓

地下式給水栓は、災害時に地域のみなさまが自ら操作をしていただくことで、飲料水を確保することができる災害用のじゃ口です。



下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。
避難所のトイレ不足を補います。



街頭消火器

杉村学区内には火災発生時のために市が設置している消火器のほか、自治会・町内会で設置した消火器があります。
日頃から、ご自宅周辺の消火器の位置を確認しておきましょう。

地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

スタンドパイプ

平成30年度に新たに設置されました。
大規模災害の火災発生時には道路の消火栓に接続し、地域で消火活動を行うために使用します。

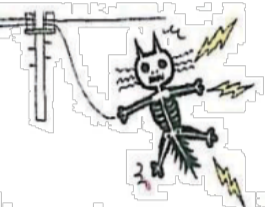


自治会・町内会の一時集合場所

自分の自治会・町内会の集合場所を
記入しておきましょう

気を付けて!!

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり
- 2. 古いブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり
- 4. 電線(高圧線)**
切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意
- 5. 瓦屋根**
大きな揺れの際には危険。瓦屋根のある家屋に住んでいる人は、あわてて外に飛び出さない

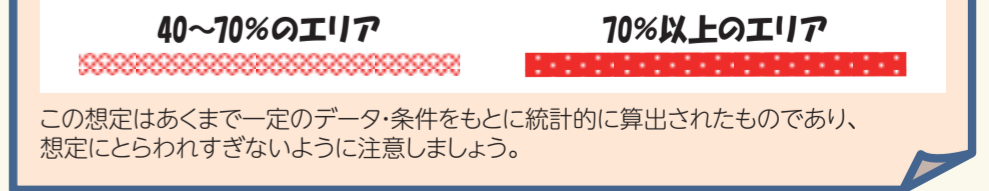


凡例

	一時集合場所 大きな災害がおこった時、地域での安否確認や情報収集、初期消火・救助活動などの指揮場所です。		指定緊急避難場所 (洪水・内水氾濫)		指定緊急避難場所 (地震の揺れ)
	指定避難所		地域防災協力事業所		下水道直結式仮設トイレ マンホール
	公衆トイレ		AED (自動体外式除細動器)		消防署
	公衆電話		地下式給水栓		スタンドパイプ (消火栓直結型ホース)
	応急給水施設		消火器		学区境

知っておこう道路閉塞率について

南海トラフ巨大地震の名古屋市の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)をもとに、地震の揺れによって建物が倒壊し、道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したものです。
※液化化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さ道路の幅員(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と設定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。
出典：震災に強いまちづくり方針



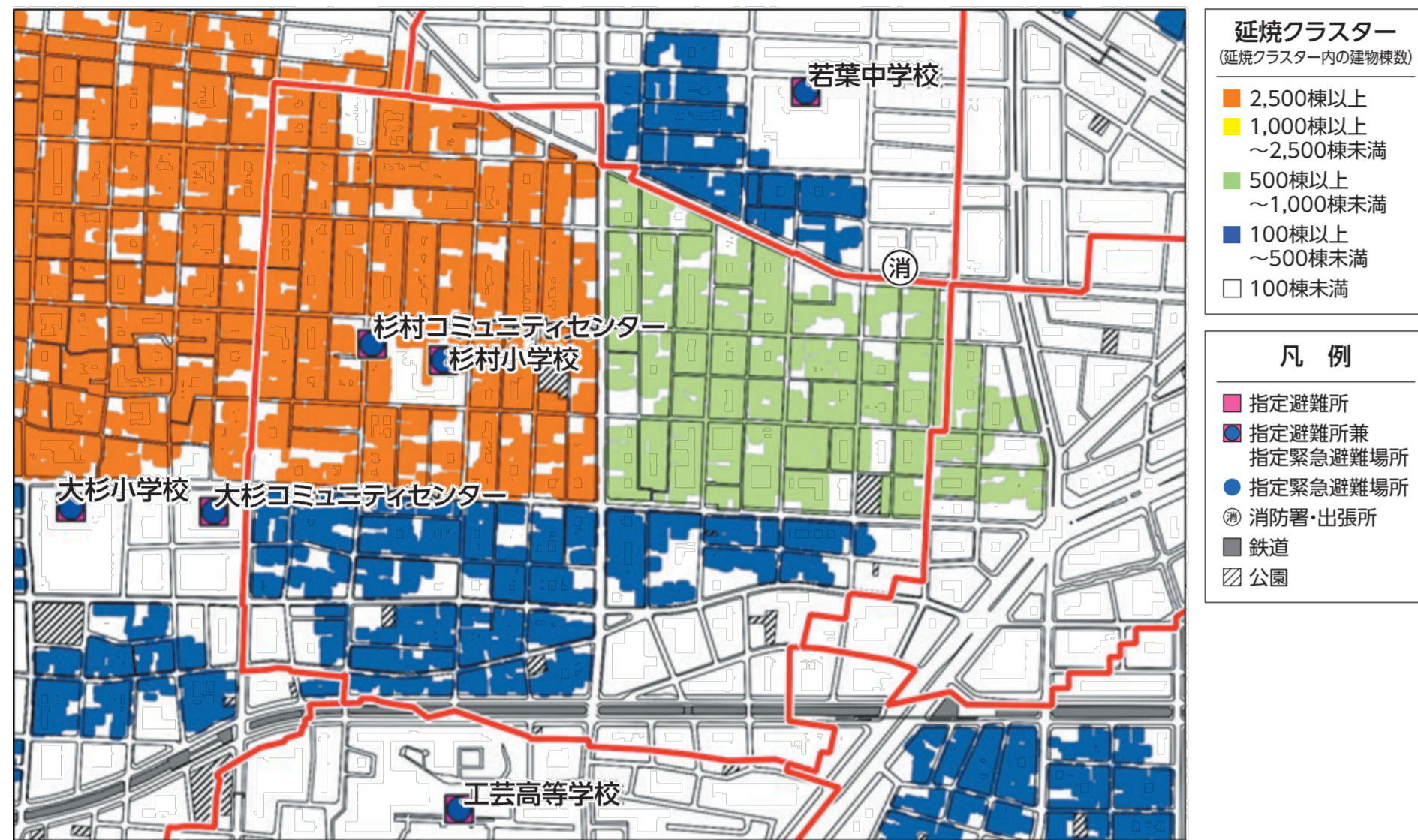
指定緊急避難場所・指定避難所

施設名所	所在地	指定緊急避難場所			指定避難所
		洪水・内水氾濫	地震の揺れ	大規模な火事	
①杉村小学校	長田町3-62	2階以上	グラウンド	×	○
②杉村コミュニティセンター	水切町6-87	2階以上	×	×	○

※大規模な火事が発生した場合は、広域避難場所に避難しましょう。

災害のリスクを知ろう! 大規模地震時の火災延焼の危険性

あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震における火災の延焼危険性
 延焼クラスターとは…消火活動が全く行われなかった場合に延焼するリスクの指標



古くからの町並みが残る杉村学区は、住宅間の距離が近く、木造住宅が多く残るために火災の延焼のリスクが高い地域です。大規模地震などの災害時に火災の延焼を食い止めるためには、日頃からの火災予防の備えや初期消火活動が重要です。

日頃からの火災予防を行おう! 感震ブレーカーの設置

地震を感知すると自動でブレーカーを落とす感震ブレーカーは、地震時の電気火災の予防に非常に有効です。名古屋市の助成制度なども活用し、地震時の電気火災のリスクを低減しましょう!



分電盤タイプ 助成対象機種

【内蔵型】
 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知、ブレーカーを落として電気を遮断します。
 費用:約5~8万円(標準的なもの)

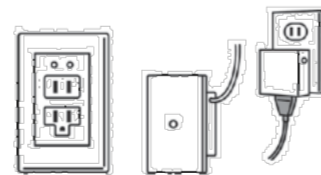


【後付型】
 分電盤に感震機能を外付けする形式で、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断します。
 費用:約2万円~(標準的なもの)



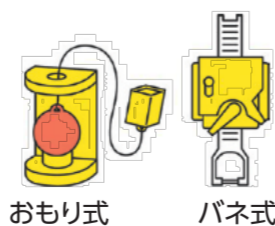
コンセントタイプ

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、電気を遮断します。
 費用:約5千円~2万円(標準的なもの)



簡易タイプ

パネの作動やおもりの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断します。
 費用:3千~5千円(標準的なもの)



(内閣府チラシより)

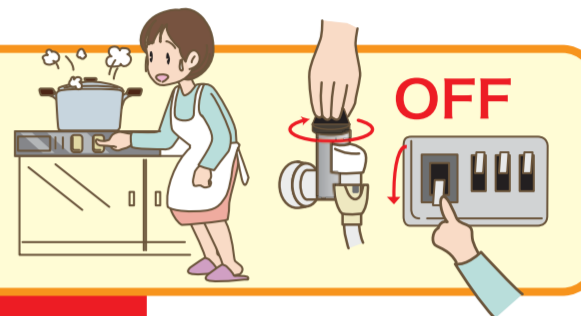
いざという時に慌てずに行動しよう!

大規模地震の発生

1 まずは丈夫な机などの下に隠れ、わが身の安全を確保しましょう。



2 地震の揺れが収まったら、火の元やガスや電気の元栓を確認し、火災の発生を予防しましょう!



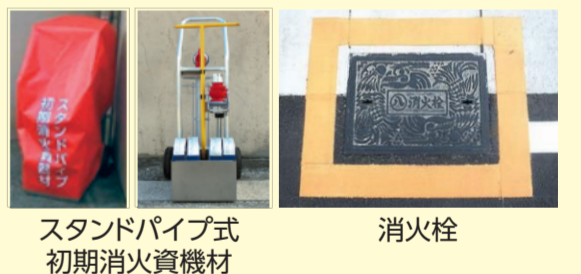
もし火災が発生したら…

1 まずは火災の発生を知らせよう! 「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求めましょう。119番に通報しましょう!



2 火災のごく初期段階では、住宅用や街頭消火器などの初期消火器具で消火しましょう!

3 消火器で消火困難な場合にはスタンドパイプ式初期消火資機材を準備し、消火を行いましょう。スタンドパイプ式初期消火資機材は道路上の消火栓に接続し、消火を行います。



注意点

命を守ることを最優先し、危険を感じたら消火活動を中止し安全な場所に避難しましょう。また、スタンドパイプ式初期消火資機材の使用には経験が必要です。日頃から訓練を行い、大規模震災に備えましょう!

日頃から訓練しておこう!

杉村学区では、定期的に学区の防災訓練や自治会・町内会単位での防災訓練を実施し、街頭消火器やスタンドパイプ式初期消火資機材の使用方法について訓練を行っています。学区や自治会・町内会の防災訓練に参加し、大規模震災時に初期消火活動が行えるよう日頃から訓練しておきましょう!



学区訓練の様子